

2015年1月6日

社長年頭挨拶(要旨)

トヨタ車体株式会社では、1月6日(火)11時10分より、トヨタ車体健保会館で辞令交付式を行いました。この中で、取締役社長の岩瀬隆広から社員に向けた年頭の挨拶の要旨は以下の通りです。

全員の力でもっとすばらしいトヨタ車体をつくって、もっといいクルマをお届けしよう

戦後70年を迎えた今年、当社も会社創立70周年という記念すべき年を迎えます。この大きな節目の年を、我々の先人、お客様や地域社会、そして一緒に働く仲間、さらに、会社の持続的な発展に感謝を伝えつつ、未来への夢をつなぐ『感謝の年』にしたいと思えます。この1年間、「わたしたちのルーツへ 手づくり70(ナナマル)」を合言葉に全員参加で盛り上げていきましょう。

◆社員への期待

1. 5ゲン主義(現地・現物・現認、原理・原則)の徹底

表面的な検討・対策・処置ではなく、現場で汚れることをいとわずに、徹底的に物事を見て本質を探してほしいと思えます。日々の業務で、“もっと全体を”“もっと本質を”“もっと拘りを”の3つの“もっと”を常に心がけるようにしましょう。

2. 「発信型」で「枠を超えて」「チャレンジする」

従来の考え方や、やり方を改革することが大切です。自ら枠を作ってははいけません。自分の能力や価値に自信をもってチャレンジしてください。そして、指示待ち人間ではなく、発信型人間になって、自ら考え“創造する”ことを期待しています。

3. 常にお客様第一と安全第一を実践

もっといいクルマをつくり、地域に貢献して、お客様に喜んでいただくためには、常日頃からお客様目線に立って考え・行動するという意識を研ぎ澄ますようにしてください。そして全員が「安全第一」も最優先に考え、「しっかりとした品質を確保」した『「良品廉価な商品」をみんなで、お客様にお届けするんだ』という強い決意を持って取り組んでほしいと思えます。

以上